

令和8年度 青森県立八戸聾学校小学部 特別活動 全体計画

各教科等との関連 (各教科、道徳科、外国語活動、総合) 【各教科との関連】 各教科において言語活動の充実への取り組みを中心に据え、表現力の向上を図る。 【特別の教科道徳との関連】 自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 【外国語活動及び総合的な学習の時間との関連】 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。 【自立活動との関連】 個々の障がいに応じた基礎的な力（コミュニケーション、人間関係の形成など）を養う。	学校の教育目標 個々の障がいの状況と心身の発達に応じた教育活動を通して、基礎的・基本的な内容の確実な習得を図るとともに、人間性豊かにたくましく生きる幼児児童生徒を育てる。 ＜めざす子どもの姿＞ ○意欲的で主体性のある子 ○豊かな情操をもち、協調性のある子 ○健康で、たくましく生きる子 ○豊かにコミュニケーションできる子				児童の実態 ・素直で、互いに協力してやり遂げようとする児童が多い。 ・言語力の弱さに起因して、教材文の内容を理解するのに時間を要する。 ・少人数で学習しているため、議論を通して多様な考え方に触れる経験が少なく、多面的・多角的に考えを深めることが難しい。 ・生活経験が少ないため、判断力や実践力に弱さが見られる。
	特別活動の目標（学習指導要領） 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようになる。 (3)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。				
	学級活動の目標 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすること、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	児童会活動の目標 異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	クラブ活動の目標 異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営すること、自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	学校行事の目標 全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	
	生徒指導との関連 【生徒指導との関連】 学級活動における児童の自発的、自治的な活動を中心として、各活動と学校行事を相互に関連付けながら、個々の児童についての理解を深める。教師と児童、児童相互の信頼関係を育み、学級経営の充実を図る。その際、いじめの未然防止を図る。				
保護者・教職員の願い ・自分の良さや可能性に気づき、共によりよく生きる人になってほしい。 ・将来、社会や地域に貢献できる人になってほしい。					
地域の人々の願い ・地域の活動に積極的に参加し、社会や地域に貢献できる人になってほしい。					

各学年の目標		
低学年（第1学年、第2学年） 友達と仲良くし、進んで活動できる態度を育てる。	中学年（第3学年、第4学年） 友達と協力し合い、自ら活動できる態度を育てる。	高学年（第5学年、第6学年） 自主的な活動を充実し、集団の中で自己を生かす態度を育てる。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事																												
指導方針	○自らよりよい生活を築くために合意形成をする話し合い活動や自分たちでルールを作って守る活動、責任感や自尊感情を高める活動を重視する。 ○学級活動の学習においては、キャリア・パスポートを積極的に活用し、これまでの学習活動の振り返り等を行う	○よりよい学校生活を主体的に築くための話し合い活動や集団への寄与など、自治的能力の育成を重視する。	○個性を伸ばし、楽しい学校生活や人間関係を築く力の育成を重視する。	○学校への所属感や連帯意識を深め、共同の意義、自然や文化の大切さを実感できる体験活動を重視する。																												
内容及び留意点	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内の組織づくりや役割の自覚 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 全 基本的な生活習慣の形成 イ よりよい人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 ・係活動や集会活動は、児童の発達段階を考慮して組織する。 ・学級担任が中心となり指導するが、必要に応じて養護教諭、栄養教諭、地域の方等と連携を図る。 ・共通事項の内容を関連づけたり、統合したりして精選する。	(1) 児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営 ・児童総会 ・係活動 ・児童集会 ・壮行式 ・あいさつ運動(生徒会と合同) (2) 異年齢集団による交流 ・新入生を迎える会 (3) 学校行事への協力 ・4年生以上の児童によって組織する。 ・毎月第3月曜日6校時に実施(定例)し臨時的にも行う。 係活動 ・全児童で分担する。所属は通年制とする。 ・係毎に、常時活動を行う。 ・係毎にリーダーを選出する。 児童集会(わくわく朝会) ・朝の短い時間を活用した集会活動を年9回実施する。	(1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表 ・第4学年以上の全児童をもって組織する。 ・年間8回(前期4回、後期4回)月曜日の6校時を活動時間に充てる。 ・全教職員の中から、担当を決め、分担し指導する。 ・年度初めに、組織・活動計画について話し合い決定する。 ・各学期の終わりに成果をまとめ、次の学期に生かす。 ・共通の興味関心を児童相互の創意工夫を生かしながら活動(追求)する。	(1) 儀式的行事 ・学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと。 【入学式、始業式、終業式、卒業証書授与式、修了式、離任式】 (2) 文化的行事 ・平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにすること。 【学習発表会】 (3) 健康安全・体育的行事 ・心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全や行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。 【運動会、健康診断・身体測定、避難訓練、交通安全教室、全国障害者スポーツ大会、冬季野外活動及びスキー教室】 (4) 遠足・集団宿泊的行事 ・自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。 【修学旅行、宿泊学習、遠足】 (5) 勤労生産・奉仕的行事 ・勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。【大清掃、奉仕活動】																												
時数・組織等	<table><tr><th>学年</th><th>時数</th></tr><tr><td>1年</td><td>34時間</td></tr><tr><td>2年</td><td>35時間</td></tr><tr><td>3年</td><td>35時間</td></tr><tr><td>4年</td><td>35時間</td></tr><tr><td>5年</td><td>35時間</td></tr><tr><td>6年</td><td>35時間</td></tr></table>	学年	時数	1年	34時間	2年	35時間	3年	35時間	4年	35時間	5年	35時間	6年	35時間	係活動は次の通りとする。 ・保健係 ・ランチ係 ・環境係 ・連絡係 小学部全職員で指導に当たる。	クラブ活動は次の通りとする。 ・運動クラブ ・料理クラブ ・実験クラブなど 児童に希望を取り、希望が多かったクラブの中から、2つ程度決めて行う。 ・一つのクラブに教師を2名以上配置する。	<table><tr><th>学年</th><th>時数</th></tr><tr><td>1年</td><td>6日 16時間</td></tr><tr><td>2年</td><td>6日 16時間</td></tr><tr><td>3年</td><td>6日 16時間</td></tr><tr><td>4年</td><td>6日 16時間</td></tr><tr><td>5年</td><td>7日 16時間</td></tr><tr><td>6年</td><td>7日 14時間</td></tr></table>	学年	時数	1年	6日 16時間	2年	6日 16時間	3年	6日 16時間	4年	6日 16時間	5年	7日 16時間	6年	7日 14時間
学年	時数																															
1年	34時間																															
2年	35時間																															
3年	35時間																															
4年	35時間																															
5年	35時間																															
6年	35時間																															
学年	時数																															
1年	6日 16時間																															
2年	6日 16時間																															
3年	6日 16時間																															
4年	6日 16時間																															
5年	7日 16時間																															
6年	7日 14時間																															
評価	よりよい生活を築くための知識・技能 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身につけている。	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりして実践している。	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。																													